

新しい働き方の推進に関する若手職員の提言【概要版】

経緯等

- ・若手職員の視点から「働きやすい職場づくり」「やりがいを感じられる職場づくり」を推進するため、庁内公募により参加した40歳未満の若手職員11名が、3班によるプロジェクトチームを設置（令和5年1月23日）
- ・3回の全体会合、各班でのグループワーク、先進地視察等を経て、3つの視点から提言を取りまとめた。

ワーク・ライフ・バランス

(1)子育てと仕事の両立への提言

個人の裁量で働く時間を調整できる、フルフレックスタイム制の導入

(2)残業解消の提言

- ・庁内副業制度
→部を超えた全庁有志による副業で人員不足を補う
- ・職員応援手当
→業務を引受け応援する職員に一時金

(3)一人一台スマホ

- ・問い合わせにどこからでも対応
- ・現場からの情報共有も簡単迅速
- ・さまざまなツールの利用で効率化

(4)フリーアドレス

- ・スペースの有効活用
- ・主体性、行動力の向上
- ・心理的安全性、コミュニケーションの活性化
→アイデアの創出、迅速な意思決定

DXによる新たな業務の進め方

(1)意識改革～ジブンゴトとしてのDX～

職員研修の拡充、DX推進員任命、統計データ利活用職員育成

(2)組織改革～変革をもたらす組織体制～

庁内DX推進指令室の設置、全グループにDX推進リーダー、DXコンシェルジュ、庁内DXプラットフォーム

(3)環境整備～DXを加速する環境整備～

ICTツール整備、電子文書の手引、庁内データベース、GIS、電子職員録プラットフォーム化 等

人材育成

(1)挑戦者を支え、評価する仕組み

能力主義、1on1の義務化、360度評価の導入、庁内インターンシップ

(2)主体性を育み、学びを後押しする仕組み

月次アンケート、20%ルール、努力をくみ取る人事、学ぶ雰囲気の後押し

(3)研修機会の充実

アンラーン・リスキング、アントレプレナーシップ、マネジメント、クリエイティブスキル研修

(4)雇用の流動化をチャンスに変える制度

副業・兼業＋退職手当の特例＋再チャレンジ制度